

タイトル「**2019年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2019年度 教養科目シラバス-「21世紀」問題群**」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	食と農のこれからを考える		
担当教員	岸上 光克 辻 和良 大浦 由美 藤田 武弘 植田 淳子		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火 5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 人数制限有（250名）		
科目名（英語表記）	Study of Food and Agriculture		
授業の概要・ねらい	<p>日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では、全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。</p> <p>本講義では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流、そして地域づくりについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討する。</p> <p>* 学内外の講師がリレー方式で講義のため、外部講師の都合により入れ替ることがある * 外部講師等が決まり次第、詳細を連絡する</p>		
授業計画	回	内容	
	1	ガイダンス、現代の食料・農業・農村（岸上光克）	
	2	フードシステムと6次産業化	
	3	日本版ガストロノミーと文化創造	
	4	食農教育の現代的意義	
	5	都市農村交流の新段階	
	6	「田園回帰」時代のライフスタイル	
	7	地域資源の活用とコミュニティビジネス	
	8	農業・農村とジェンダー	
	9	農業の担い手確保を農業女子プロジェクト	
	10	移住者のなりわいづくりと「継業」	
	11	森づくりと企業参加	
	12	和歌山の農業とJAの役割	
	13	協同組合の現代的価値	
	14	農業とICT活用	
	15	農業者と語る「食と農のこれから」	
到達目標	食と農の関係性の現状と課題について理解する。		
成績評価の方法	各回のテーマ毎に提出するリアクションペーパーと質疑応答、まとめの課題レポートなどをもとに、主任講師が総合評価を行う。		
教科書			
参考書・参考文献			
履修上の注意・メッセージ	食料・農業・農村に関心のある方は受講を勧める		
履修する上で必要な事項			
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学修についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の自主学修が必要です。		
その他連絡事項			
科目ナンバリング	C0030006J		